

第2回定例会

一般質問

区政をただす

文化芸術の振興を図れ

公明党議員団 岡本 いさお



中野には文化人や芸術家がたくさんいる。区長は区内の芸術家と懇談をし、意見交換を定期的に行うなど、心の交流をし、地域の文化芸術の進め方、あり方をじっくり語り合ったらどうか。区役所やサンプラザ広場などでロビーコンサートなどを、また、商店街のスポットなどをパフォーミング広場として指定し、区民が楽しみ、コミュニケーションが図れるような事業を検討したらどうか。教育委員会の枠を超えて、21世紀の中野の文化芸術振興策を打ち立てるべきだ。そのためには文化芸術振興条例も視野に入れた、中野版アーツプログラムを制定してはどうか。



中野サンプラザ広場

区長 今後、文化・芸術家の方々と話し合う機会をつくっていききたい。まちづくりや施設整備の中に、提案された視点を取り入れて検討を行いたい。基本構想、10か年計画の中に、文化芸術振興を一つの大事なポイントとしてとらえていきたい。高齢者福祉の推進を

保健福祉総合推進計画に、区民要望の強い痴ほう性高齢者の見守り支援事業を位置付け、実施に向けた検討をすべきではないか。介護予防の視点も保健福祉総合推進計画に明確に位置付け、介護メニューを示すとともに、いつまでも何をどこで実施するといふ、介護予防推進計画をつくってはどうか。利用者活用しやすい介護予防ガイドブックが必要と考えるがどうか。

区長 痴ほう性高齢者の施策は充実しているが、介護保険との整理をしながら検討していきたい。保健福祉総合推進計画の改定時には介護予防の視点を取り入れ、実現可能な介護メニューは速やかに着手する。また、策定中の10か年計画に事業計画や数値目標を入れた。区民に対する啓発の資料は利用者

区立中学校入学式

区は新たに基本構想、10か年計画を策定しようとしているが、実現するには町会・自治会の協力が不可欠である。現在、さまざまな場面で町会・自治会の協力を得ているが、区はどのように受け止めているのか。町会・自治会などに対する位置付けが希薄であるので、区はしっかりとした認識を持ち、位置付けることが必要なのではないか。

区長 町会・自治会は、地域にあって唯一の地縁団体として、地域全体の公益活動に取り組んでおり、区政運営にも大いに協力、貢献していただいている。町会・自治会の独特の位置付けは、基本構想の中で、適切、明確に記述したい。

教育長 区内の小・中学校では、学習指導要領に基づき適切に実施されている。教育活動の一環なので、事前に説明し理解を求めると、毅然とした態度で対応する。新しい基本構想について問う

基本構想審議会の答申がまとまり、議論の共通の土俵ができたが、区は今、さまざまな改革に全精力を注がなくてはならない時期に、なぜ基本構想の改定に着手するのか。「区民憲章」とは、何なのか。区民の自己責任、小さな区役所とは。現行の基本

特別養護老人ホーム

基本構想の実現には町会・自治会の協力が不可欠

自由民主党・民社クラブ 大内 しんご



区内小・中学校の卒業式、入学式は適正に運営せよ

都教委は「入学式、卒業式等における国旗掲揚及び国歌斉唱の実施について」という通達を出したが、小・中学校の卒業式、入学式で、都の通達に基づく運営がなされなかった学校はあるのか。来賓の方々にも教育的立場を理解してもらわなければならない。

新たな基本構想と10か年計画の「検討素材」では、区民参加を無視し、小学校を29校から21校へ、中学校を14校から7校に統廃合しようとしている。15の地域センターを地域活動センターに、統廃合で廃止する学校に、総合公民サービスセンターを3〜4カ所つくることとしている。

小学校に児童館と児童クラブを吸収し、放課後を家庭や体育館で過ごさせることにしている。保育園、幼稚園を、指定管理者制度など民営化しようとしている。これらの点は再検討すべきと思うがどうか。

教育長 昨年6月に再編の考え方を示し、対話集会的な

構想を実現するための「地・住構想」はどうするのか。区長 行政のあり方など、大きな改革をしなければ、新しい時代のビジョンを伴わない改革は成しないからである。中野というまちをつくるのは区民であり、そのためにも共有する理念である。自らの政府に自ら参加し、自らの決定に責任を持つことで、「最初の政府」という考えを進めたものである。地域での多様な価値や状況に合わせた合意形成が求められているので、地・住構想を踏まえ、さらに発展させた形にする。

区長は説明責任をしっかりと果たせ



TOKYO自民党中野区議団 市川 みのる

基本構想の姿がまだ見えないうちに10か年計画の策定が並行して進み、各論が議論されている。どう考えるか。区の経営哲学をどう考えるのか。事業部制の中で、区長は自身の考えをどう各部へ伝えていくのか。区長は、中野のまちにどのようなビジョンを持っているのか。

区長 10か年計画は区の取り組みの財政的な裏づけを含むものであり、基本構想と合わせた策定が肝要と考える。区民にとって最大に価値のあるサービスを提供することを使命と考える。日常

区長 地域の意向を踏ま